

## 第 7 次国有林野施業実施計画書(案)

(上越森林計画区)

計画期間 自 令和8年4月1日  
至 令和13年3月31日

関 東 森 林 管 理 局

## 目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	3
(5)	更新総量	4
(6)	保育総量	4
3	特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積	5
4	林道等の整備に関する事項	5
5	治山に関する事項	5
6	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	6
(1)	保護林の名称及び区域	6
(2)	緑の回廊の名称及び区域	6
7	樹木採取区の名称、所在地及び面積	6
8	レクリエーションの森の名称及び区域	7
9	国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全等に関する事項	12
(1)	森林共同施業団地の名称及び区域	12
(2)	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	12
10	その他必要な事項	13
(1)	施業指標林、試験地等	13
(2)	フィールドの提供	13
(3)	その他	14

## 1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

## 2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

### (1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別冊「伐採造林計画簿」に示すとおりである。

### (2) 水源涵養<sup>かん</sup>タイプにおける施業群別面積等

(単位：面積 ha、伐期齢 年)

施 業 群	細 分	面 積	取 扱 い の 内 容	伐 期 齢 又 は 回 帰 年
通常 伐期	ス ギ 分 散 伐 区	9.74	森林の管理経営の指針による	60
長 伐期	ス ギ 長 伐 期	6.39	〃	100
複 層林	ス ギ 複 層 林	117.01	〃	60 (注2)
天然 林・ その他	択 伐	3,189.69	〃	回帰年は定めない
設定外 (注1)		9.04		
合計		3,331.87		

- (注) 1. 施業群設定外は分収林、更新困難地等の特定の施業方法を設定することが適当でない林地とする。  
 2. 複層林の上層木の伐採は下層木の植栽から20年以上経過してから実施する。  
 3. 面積は林地面積を計上している。

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施 業 群	上 限 伐 採 面 積	備 考
通 常 伐 期	1	ス ギ 分 散 伐 区
長 伐 期	0	ス ギ 長 伐 期
複 層 林	15	ス ギ 複 層 林
天 然 林 ・ そ の 他	319	択 伐
合 計	335	

(注) 備考欄は、施業群の細分である。

## (4) 伐採総量

(単位：m3)

区 分			林 地					林地以外	合計
			主 伐	間 伐	小 計	臨時 伐採量	計		
山 地 災 害 防 止 タ イ プ			4,260	13,907 (116.83)	18,167				
自 然 維 持 タ イ プ			—	—	—				
森 林 空 間 利 用 タ イ プ			5,051	4,514 (53.18)	9,565				
快 適 環 境 形 成 タ イ プ			—	—	—				
水 源 涵 養 タ イ プ	通常 伐期	スギ分散伐区	—	—	—				
	長伐期	スギ長伐期	—	—	—				
	複層林	スギ複層林	3,186	1,292 (9.31)	4,478				
	天然林 ・ その他	択 伐	—	—	—				
		そ の 他	—	—	—				
	設 定 外		—	—	—				
	計		3,186	1,292 (9.31)	4,478				
	合 計			12,497	19,713 (179.32)	32,210	2,000	34,210	—
年 平 均			2,499	3,943 (36.00)	6,442	400	6,842	—	6,842

(注) ( ) は、間伐面積(ha)である。

## (再 掲) 市町村別内訳

(単位：m3)

市町村名	林地					林地 以外	合計
	主伐	間伐	小計	臨時伐採量	計		
糸魚川市	—	—	—				
妙高市	12,497	11,797	24,294				
上越市	—	7,916	7,916				
合計	12,497	19,713	32,210				

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

## (5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山 地 災 害 防 止 タ イ プ	自 然 維 持 タ イ プ	森 林 空 間 利 用 タ イ プ	快 適 環 境 形 成 タ イ プ	水 源 涵 養 タ イ プ	合 計
人 工 造 林	単 層 林 造 成	—	—	—	—	—	—
	複 層 林 造 成	14.37	—	16.77	—	9.29	40.43
	計	14.37	—	16.77	—	9.29	40.43
天 然 更 新	天 然 下 種 第 1 類	—	—	—	—	—	—
	天 然 下 種 第 2 類	—	—	—	—	—	—
	ぼ う 芽	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—	—
合 計		14.37	—	16.77	—	9.29	40.43

## (6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山 地 災 害 防 止 タ イ プ	自 然 維 持 タ イ プ	森 林 空 間 利 用 タ イ プ	快 適 環 境 形 成 タ イ プ	水 源 涵 養 タ イ プ	合 計
保 育	下 刈	15.36	—	16.10	—	8.93	40.39
	つ る 切	0.39	—	—	—	—	0.39
	除 伐	0.91	—	2.10	—	—	3.01

### 3 特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積

所 在 地 (林 小 班)	面 積 (ha)
20 へ、ち、る2 22 か～よ1、む 29 む2	16.11

### 4 林道等の整備に関する事項

基 幹・ その他別	開 設 ・ 改 良	路 線 名	箇 所 ( 林 班 )	延 長 ( m )	備 考
そ の 他	改 良	藤巻林道	22	500	
		黒倉林道	83	500	
		杉野沢（氷沢）林道	64	100	
	小 計	3 路線		1,100	
計	改 良	3 路線		1,100	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、計画箇所以外においても実行できるものとする。

### 5 治山に関する事項

位 置 ( 林 班 )	市 町 村	区 分	工 種	計 画 量
83、84、85	上 越 市	保安林の整備	本 数 調 整 伐	82ha
93、104～107、110、111	糸 魚 川 市	保 安 施 設	溪 間 工	2か所
			山 腹 工	1か所
			そ の 他	1か所
31、38、45	妙 高 市		溪 間 工	1か所
			山 腹 工	1か所
72、81	上 越 市		溪 間 工	1か所
		山 腹 工	1か所	
合 計		保安林の整備		82ha
		保 安 施 設	溪 間 工	4か所
			山 腹 工	3か所
			そ の 他	1か所

(注) 1 か所数は単位流域を1か所として集計。

2 災害復旧等緊急を要する工事については、計画箇所以外においても実行できるものとする。

## 6 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

### (1) 保護林の名称及び区域

原生的な森林生態系からなる自然環境、地域固有の生物群集を有する森林及び希少な野生生物の生育・生息に必要な森林の保護・管理を目的として、下記のとおり保護林を設定しており、貴重な天然林等の自然環境維持に配慮しながら適切に保護・管理を図っていくこととする。

区 分	名 称	面 積 ( ha )	位 置 ( 林小班 )	特 徴 等	備考
希少個体群 保 護 林	犬ヶ岳 ホンシャクナゲ	115.00	108 ロ	北アルプス北端の犬ヶ岳から黒岩山を結ぶ稜線の東斜面において、ヒメコマツ、クロベ等が点生する天然林の林下に生育しているホンシャクナゲ群落である。	
	蓮華ライチョウ	974.82	100 イ 102 ニ2～ニ6	ライチョウの生息環境となっている長母山～雪倉岳～三国境～小蓮華山等に連なる稜線に分布しているハイマツ群落及び白馬山系高山植物地帯である。	
	火打山周辺 ライチョウ	826.74	11 イ3 13 ロ2 41 イ 42 ロ1 44 イ 49 イ 93 イ18	ライチョウの生息環境となっている裏金山～焼山～影火打～火打山～雷鳥平に連なる稜線に分布しているハイマツ群落及び妙高山連峰高山植物地帯である。	
計	3か所	1,916.56			
合 計	3か所	1,916.56			

(注) 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の保護林の面積は、保護林に該当しない区域（貸付地等）を除外した面積である。

### (2) 緑の回廊の名称及び区域

該当なし

## 7 樹木採取区の名称、所在地及び面積

該当なし



# 8 レクリエーションの森の名称及び区域

種 類	名 称	面 積 ( ha )	位 置 ( 林小班 )	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
自然休養林	笹ヶ峰	2,200.67	35 に、ほ、と～ぬ、る2 36 い～は2、ほ、と、ち 37 い1、い2、は、ほ、 ち～わ1	関川最上流に位置し、 標高約1,300～1,900mの山 岳地帯に設定。笹ヶ峰ダ ム上流部に接した区域 は、隣接民有地の国民休 暇村、笹ヶ峰牧場、笹ヶ 峰ダム等と一体的な利用 を図るものであり、森林 浴、研修の場等として利 用されている。  笹ヶ峰ダム右岸に接す る区域及びトクサ沢川上 流部の区域は、一部カラ マツ人工林を含むもの の、大部分はブナ・ミズ ナラ等で構成され、優れ た自然景観を形成してお り、登山、自然探勝、森 林動植物の生態観察等に 利用されている。  また、笹ヶ峰、夢見平 の散策路の一部は安全で 歩きやすい歩道として整 備しており、「森林セラ ピーロード」としても認 定されている。	育成複層林 へ導くため の施業（以 下「育成複 層林施業」 という。）  主伐面積 10.96ha  間伐面積 36.06ha	実施主体：妙高市 ・歩道 ・避難小屋	国が実施 する施設整 備の計画な し	
		365.33  風致探勝 ゾーン 1,835.34	38 い2、に1～と、ぬ、 る1、か、よ、 そ1～ら、う～の2 39 は1、は2 45 い2、は～わ2、よ 50 い～は、ほ、り、 る1、わ、た、な～の 57 は～ほ3、と～り、 る1～る3、た、れ、 つ、ね、ら 64 に、へ8 ----- 35 い～は2、へ、る1、 わ、か 36 に1～に4、へ、り、ぬ 37 ろ、に、へ、と、 わ2～た 38 い1、い3～は、ち、 り、る2、わ、 た～れ3、む、お 39 い、ろ、に 45 い1、ろ、か、た～そ 50 に1、に2、へ1～ち、 ぬ、る2、か、よ、 れ～ね、お					

種 類	名 称	面 積 ( ha )	位 置 ( 林小班 )	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
自然休養林	笹ヶ峰		51 い、ろ、ほ～と 52 ろ 57 い、ろ、へ、ぬ、 わ～よ、そ、な、 む～う2 58 い～は 59 い、ろ 60 い1～は 64 い～は、ほ～へ7、 と1～ち ----- 37 イ1、イ2 45 イ 52 イ 57 イ		天 然 生 林 施 業      林 地 以 外			
計	1 か所	2, 200. 67						
野外スポーツ地域	妙高山スポーツ林	745. 31	29 む2	妙高山の東山麓、標高約700～1, 800mに位置し、積雪も多く雪質良好で、地形は起伏に富み、12月上旬～4月まで利用できるスキー場を主体とし、地域内の温泉保養等、四季を通じて利用されている。	育成単層林へ導くための施業（以下「育成単層林施業」という。）	実施主体：妙高市 ・スキージャンプ台 ・リフト等 ・駐車場  実施主体：民間 ・リフト等 ・休憩施設 ・宿泊施設 ・駐車場	国が実施する施設整備の計画なし	

種 類	名 称	面 積 ( ha )	位 置 ( 林小班 )	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	妙 高 山 ス ポ ー ツ 林		23 ろ1～と3、か～よ2、 た～ね3、な、ら、う1 25 は2、に、へ、り～わ、 よ、た 27 ぬ1、ぬ2、わ1～か、れ 28 ろ～り2、ぬ1、か1、 か2、た～そ2、 ね～む、お、ま、ふ、 え～て5、き1、 き4～ひ3 29 ち～わ、た～つ2、 む1、う1～や1、け、 ふ、え、あ1、あ2		育成複層林 施 業  主伐面積 14.23ha  間伐面積 7.58ha			
			22 う2、の2 23 い、ち～わ、よ3、 よ4、ね4、む、 う2～う4 25 い1～は1、ほ、と、 ち、か、そ 27 ち1～り、る、よ、 た、そ～う5 28 い、よ、そ3、つ、 う1～の2、く、や、 け、こ、あ、さ、 き2、き3、も 29 と、か、よ、ね～ら、 や2～ま、こ、 て1～て3、さ1～せ2 30 い～ほ、ぬ3		天然生林 施 業			

種 類	名 称	面 積 ( ha )	位 置 ( 林小班 )	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	妙 高 山 ス ポ ー ツ 林		23 イ1～ハ 27 イ1～イ3、ハ 28 イ1～イ5 29 ロ1～ロ3、ハ4、ホ 30 イ		林 地 以 外			
	妙 高 杉 ノ 沢 ス ポ ー ツ 林	481.10	32 い～は、ほ、ち、 ぬ2、れ、つ、 ら～う、お、く、ま 33 ろ～ち4 34 ほ	赤倉山の南山腹、標高約 1,000～2,000mに位置し、 積雪も多く雪質良好で、変 化に富んだスキーコースを 有し、周辺民有地には宿泊 施設が完備されており、初 級者から上級者まで幅広く 利用されている。	育成複層林 施 業	実施主体：民間 ・リフト等	国が実施 する施設整 備の計画な し	
			32 に、へ、と、り、 ぬ1、る～よ、そ、 ね、な、の、や 33 い、り1～わ2 34 い～に、へ1、へ2、 わ2～わ5		天 然 生 林 施 業			
			33 イ～ハ2 34 イ、ロ		林 地 以 外			
	菱 ケ 岳 ス ポ ー ツ 林	170.81	74 に、へ	菱ヶ岳の北面、標高約 700～1,100mに位置し、積 雪も多く雪質良好で、地形 の変化に富み、12月～3月 までの利用が可能なスキー 場であり、民有地と一体と なって利用されている。	育成複層林 施 業	実施主体：上越市 ・リフト等 ・歩道 ・避難小屋	国が実施 する施設整 備の計画な し	
			74 い1～は3、ほ、と～る5		天 然 生 林 施 業			
			74 イ～ト		林 地 以 外			
計	3 か所	1,397.22						

種 類	名 称	面 積 ( ha )	位 置 ( 林小班 )	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
風致探勝林	蓮 華	42.63	101 ほ、へ 102 い2	コメツガ・ブナを中心とする原生的な森林と高山植物に富む。またレクリエーションの森区域内に蓮華温泉もあり、自然探勝、登山、ハイキング、湯治等に利用されている。	天 然 生 林 施 業	実施主体：新潟県 ・歩道 ・野営場	国が実施する施設整備の計画なし	
			101 イ、ホ 102 イ1～ロ		林 地 以 外	実施主体：糸魚川市 ・駐車場 ・休憩施設  実施主体：民間 ・宿泊施設		
計	1 か所	42.63						
その他（レクリエーションの森施設敷）	黒 沢 ヒ ュ ッ テ	0.08	16 イ	単独レクリエーション施設	林 地 以 外	実施主体：民間 ・宿泊施設	国が実施する施設整備の計画なし	
	大 谷 ヒ ュ ッ テ	0.10	31 イ	〃	林 地 以 外	実施主体：新潟県 ・避難小屋	〃	
	高 谷 池 ヒ ュ ッ テ	0.08	42 イ1	〃	林 地 以 外	実施主体：妙高市 ・宿泊施設	〃	
	カ モ シ カ 展 望 台	0.01	101 ニ	〃	林 地 以 外	実施主体：新潟県 ・展望台	〃	
計	4 か所	0.27						
合 計	9 か所	3,640.79						

**９ 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全等に関する事項**

（１）森林共同施業団地の名称及び区域  
該当なし

（２）公益的機能維持増進協定の名称及び区域  
該当なし

## 10 その他必要な事項

### (1) 施業指標林、試験地等

種 類	名 称	設定年月	面 積 ( ha )	位 置 ( 林小班 )	備 考
試 験 地	妙 高 ・ 幕 の 沢 雪 崩 試 験 地	平成14年	133.92	22 の1、の2、 う3、う4 23 よ2、た、れ、 う1、う2、の、 お、く、イ2、 イ5	雪崩の発生を検知し、 雪崩の発生条件を解明 する。
試 験 地 計			133.92		

### (2) フィールドの提供

対象地（林小班）	設定の目的	備 考
114ち1、ち3、ち4	ふれあいの森 (鏡池ふれあいの森)	設 定：平成12年3月 実施主体：上越市 面 積：44.12ha
22 よ1～よ3、 そ～う2 24 い～み3 57 ろ～ぬ、る2、 る3、よ～れ 64 ろ1～に、 へ1～へ8	遊々の森 (妙高遊々の森)	設 定：平成17年12月 実施主体：独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家 面 積：456.30ha
72 ろ 73 へ 74 る2 75 ほ 76 る1、わ1 77 の 78 ら 79 い、ろ 80 へ1、へ2 81 そ1、そ2 82 ち 83 ら、む、の1、こ 84 れ 85 わ、か、こ、あ 86 よ、つ	多様な活動の森 (関田トレイル)	設 定：平成16年10月 実施主体：NPO法人信越トレイルクラブ

## (3) その他

## レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位 置	面 積 ( ha )	施業方法
29 ほ	0.06	育成単層林業
27 ろ〜と 28 ん2〜る7、わ2 29 い、に、へ 34 ち 103 い、ろ	56.13	育成複層林業
27 い2 28 り3、る8、わ1 29 ろ、は 30 へ〜ん2、る〜か 34 と、り〜る 73 い〜へ 100 い 101 い〜に 102 い1、い3、に、ほ 103 は、に 114 ち1、ち3、ち4	958.93	天然生林業
29 イ、ハ1、ハ2、ニ1、ニ2 101 ロ、ハ 102 ハ1、ハ2 103 イ1、イ2 114 イ	6.63	林地以外
計	1,021.75	

(注) (1)、(2)の箇所を除く。